



平成 30 年 4 月 27 日

各 位

会 社 名 株式会社エイチ・アイ・エス
 代 表 者 名 代表取締役会長兼社長 社長執行役員
 グループ最高経営責任者 澤田 秀雄
 (コード番号 9603 東証第一部)
 問 合 せ 先 取 締 役 上 席 執 行 役 員
 最 高 財 務 責 任 者 中 谷 茂
 (TEL 03-6388-0707)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 30 年 4 月 27 日開催の取締役会において、最近の動向を鑑みて平成 29 年 12 月 19 日に公表した連結業績予想の修正について決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 30 年 10 月期第 2 四半期（累計）連結業績予想数値の修正

(平成 29 年 11 月 1 日～平成 30 年 4 月 30 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	350,000	7,700	8,700	5,700	99 円 60 銭
今回修正予想 (B)	340,000	7,000	7,000	2,900	50 円 67 銭
増減額 (B-A)	△10,000	△700	△1,700	△2,800	—
増減率 (%)	△2.9	△9.1	△19.5	△49.1	—
(ご参考)前期実績	271,825	6,242	10,531	5,172	84 円 14 銭

※前第 4 四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、

「(ご参考) 前期実績」については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の見直しが反映された後の金額によっております。

2. 平成 30 年 10 月期通期連結業績予想数値の修正

(平成 29 年 11 月 1 日～平成 30 年 10 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	735,000	18,000	20,000	11,800	206 円 19 銭
今回修正予想 (B)	720,000	17,300	17,500	9,100	159 円 1 銭
増減額 (B-A)	△15,000	△700	△2,500	△2,700	—
増減率 (%)	△2.0	△3.9	△12.5	△22.9	—
(ご参考)前期実績	606,024	15,915	19,647	13,259	219 円 52 銭

3. 第 2 四半期 (累計) 連結業績予想数値の修正理由

(1) 売上高及び営業利益の修正の主な理由

旅行事業において、GROUP MIKI HOLDINGS LIMITED (ミキグループ) のオンライン事業における新システムのリリースが遅れたことにより当初見込んでいた集客を確保することが困難と見込んでおります。

ハウステンボスグループにおいて、ラグーナテンボスの年末年始及び春休みシーズンの入場者数が年初計画よりも減少したこと、また、電力小売事業を営むHTBエナジー株式会社における燃料コストが増加したためであります。

以上の要因を受け、前回発表数値から売上高は 100 億円減少の 3,400 億円、営業利益は 7 億円減少の 70 億円と見込んでおります。

(2) 経常利益の修正の主な理由

営業利益の減少要因に加え、想定以上に円高に推移しているため、外貨建資産の評価損 (為替差損) が発生することが見込まれます。今回発表数値は、当該評価損の見積額を織り込んだものであります。(約 14 億円。1 米ドル=108 円で試算。)

ただし、実際の業績は、第 2 四半期末の外貨建資産の残高及び為替レートによって、変動する可能性があります。

(3) 親会社株主に帰属する四半期純利益の修正の主な理由

上記減少要因に加え、当社の持分法適用関連会社 ASIA ATLANTIC AIRLINES CO., LTD. に対する債権の回収が困難と見込まれるため、当該債権を放棄することによる損失 (約 16 億円) が発生するためであります。

4. 通期連結業績予想数値の修正理由

第2四半期（累計）連結業績予想数値の減少要因に加え、オーストラリアにおけるウォーターマークホテル豪州（ゴールドコースト・ブリスベン）の土地・建物等の売却を予定しているため固定資産売却益（約10億円）が発生する見込みであります。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって変動する可能性があります。

以 上